



2026年5月13日

各 位

会 社 名 永大化工株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦 義則
(コード番号:7877 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 田中 敏幸
(TEL. 06-6791-3355)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2027年3月期から2029年3月期までを対象期間とした中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。本中期経営計画で掲げた目標の達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

中期経営計画2029

(2027年3月期－2029年3月期)

2026年5月13日
永大化工株式会社
(東証スタンダード 7877)
EIDAIKAKO CO.,LTD.



目次

- 1 中期経営計画の策定にあたって
- 2 長期/中期ビジョン
- 3 中期経営計画の基本方針と経営目標
- 4 セグメント別事業戦略
- 5 財務戦略

1 中期経営計画の策定にあたって

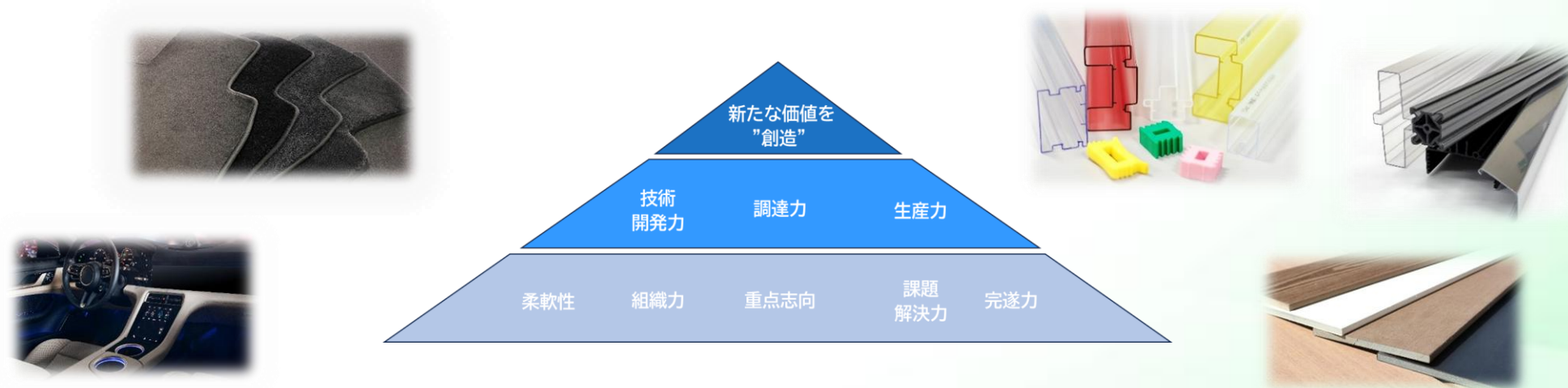
永大化工グループでは本中期経営計画において、
次なる新しいステージへの躍進を目指してまいります。

ステークホルダーの皆様との共創を通じて、既存ビジネスの一層の伸展に加えて、
デジタル化社会の新技术・DX関連分野への取組を加速させ、
お客様や働く人々へのエンゲージメントを高めながら、
より付加価値の高い企業体質への変革を図ることによって、
売上高100億円を突破する企業グループとなることを目指します。

2 長期ビジョン

2030年ビジョン

合成樹脂の可能性を切り拓き新しい未来を創出しよう！



経営方針

英知と活力を集結して事業の発展を目指し、
法令順守のもと我々が誇れる会社を目指す。

企画開発設計から提案までトータルにサポートできる「ものづくり企業」へ

2 中期ビジョン

中期経営計画2029で、売上高105億円への「躍進」

2026年4月-2029年3月中期スローガン「躍進」

“事業変革”の実行

既存の慣習や提供価値を見直す全体最適のアプローチ

2023年4月-2026年3月中期スローガン「復活」

2023年
3月期

売上高	営業利益率	ROE
82億円	-3.7%	-3.5%

2026年
3月期

売上高	営業利益率	ROE
92億円	5.2%	4.6%

2029年3月期

売上高

105 億円

営業利益率 ROE
5.2% 5.0%

3 中期経営計画の基本方針と経営目標

高収益体質への転換を図り、資本効率の改善へ



3

中期経営計画の基本方針と経営目標

数値目標及び重要財務指標

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期		
	実績	実績	計画	計画	計画	2026年3月期比増加率	
単位:百万円							
売上高	8,857	9,220	9,500	10,000	10,500	1,280	13.9%
自動車用品	5,885	6,076	6,130	6,370	6,500	424	7.0%
産業資材	2,971	3,143	3,370	3,630	4,000	857	27.3%
営業利益	290	477	500	520	550	73	15.3%
自動車用品	273	431	452	470	494	63	14.6%
産業資材	16	45	48	50	56	11	24.4%
当期純利益	185	334	340	360	380	46	13.8%
営業利益率	3.3%	5.2%	5.3%	5.2%	5.2%	—	—
ROE	2.6%	4.6%	4.6%	4.8%	5.0%	—	0.4%

4 事業戦略 — 重点施策(自動車用品部門)

国内外の地域・ニーズに合わせた製品提供

事業体制の強化

- ▶ 安定調達、コスト競争力を踏まえた、強靱なサプライチェーンの再構築
- ▶ DX推進による生産性向上と業務の効率化で原価改善を追求
- ▶ 市場不具合ゼロを目指した品質の向上

グローバル戦略の強化

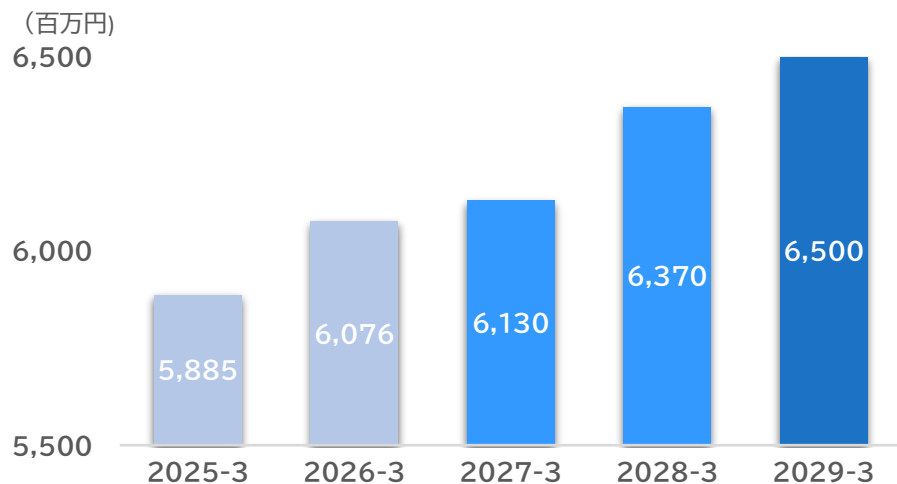
- ▶ 日本国内の更なるシェア拡大
- ▶ 東南アジア及びその他諸国へニーズに合わせた製品の販売強化

循環型社会に配慮したモノづくり

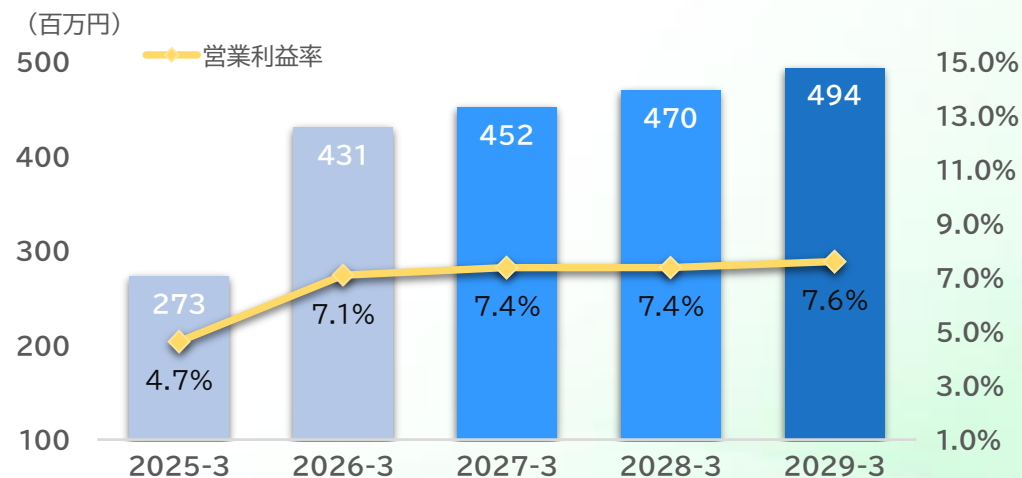
- ▶ 確立した、水平リサイクルが可能となったマテリアルリサイクル“モノマテリアル・フロアマット”(単一素材)をいち早く量産化し、使用済み製品の市場回収からリサイクル(PCR)を目指す
- ▶ 開発/検証スピードの加速

4 事業戦略 — 数値目標等(自動車用品部門)

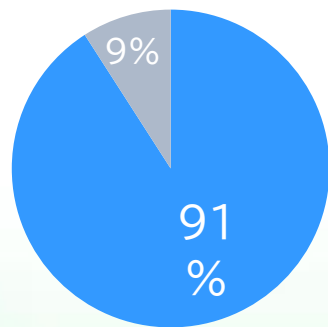
売上高



営業利益・利益率



取扱品目別売上比率(2026-3)



- 自動車用フロアマット … 表面がカーペット(絨毯)で構成されたカーペットマットやモノマテリアル(単一素材)マット、射出成型による全天候型フロアマットなど
- その他アクセサリ用品 … ラグジュ用マットや荷台用マット、車内用シリコン製用品、その他縫製用品など

事業基盤の強化

既存事業の強化

- ▶ 原料調達の集約化による、コスト競争力、調達力、供給力の強化
- ▶ 継続的な設備投資や改修による、競争力、収益力の強化
- ▶ 安定的受注によるライン稼働平準化

収益力の強化

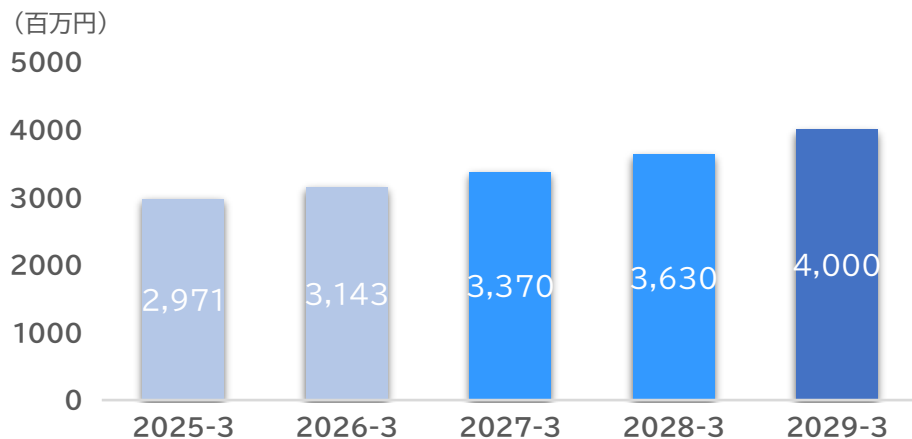
- ▶ 一定収益事業の総点検。低収益事業を中心とした合理化を検討
- ▶ DX推進による生産性向上と業務の効率化で原価改善を追求

新事業の開発強化

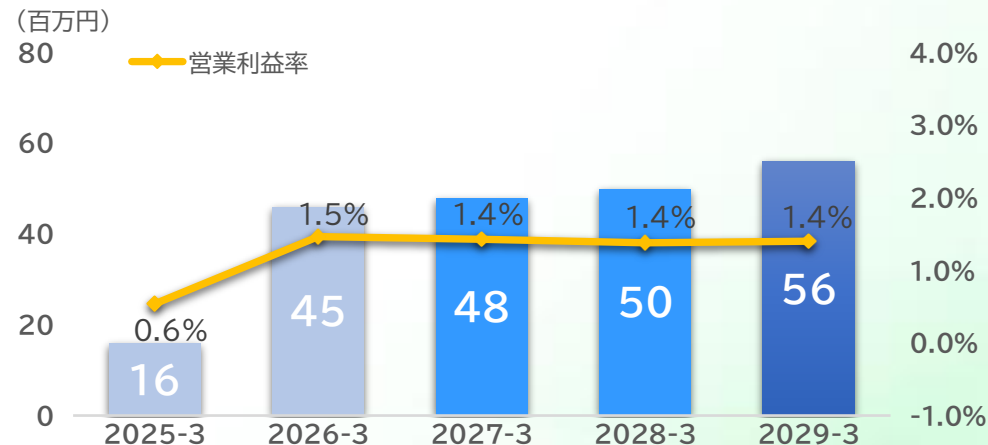
- ▶ 主力である押出成形加工領域以外の、新たな工法への開発研究の推進
- ▶ リサイクル原料を用いた商品の普及による循環経済の実現

4 事業戦略 — 数値目標等(産業資材部門)

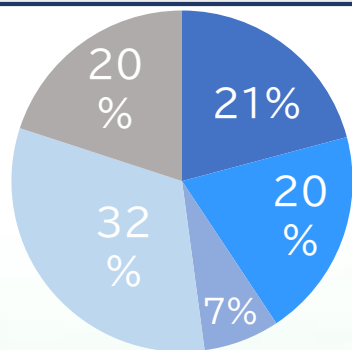
売上高



営業利益・利益率



取扱品目別売上比率(2026-3)



- マガジンスティック
- エアコン配管用化粧カバー
- 下水道補修用部材
- 合成木材関連製品
- その他

- …ICデバイス、各種電子部品などの搬送・保管を用途とした製品
- …家庭用エアコン向け。エアコン配管を保護し美観良く仕上げる用途材
- …老朽化した下水道管を修繕・改築する公共事業向け更生工法用途材
- …木粉とプラスチックを混合した原料により、デッキ・ベンチ・手すりなどの木質感を再現した合成木製品
- …風呂蓋、家電関連部材や工業用部品など

5

財務戦略 — 資本効率の最大化

新たな価値を創造するために、
経営基盤の強化、株主還元強化を優先し、
さらなる企業価値・株主価値向上を図ってまいります。

成長戦略への投資・経営基盤の強化

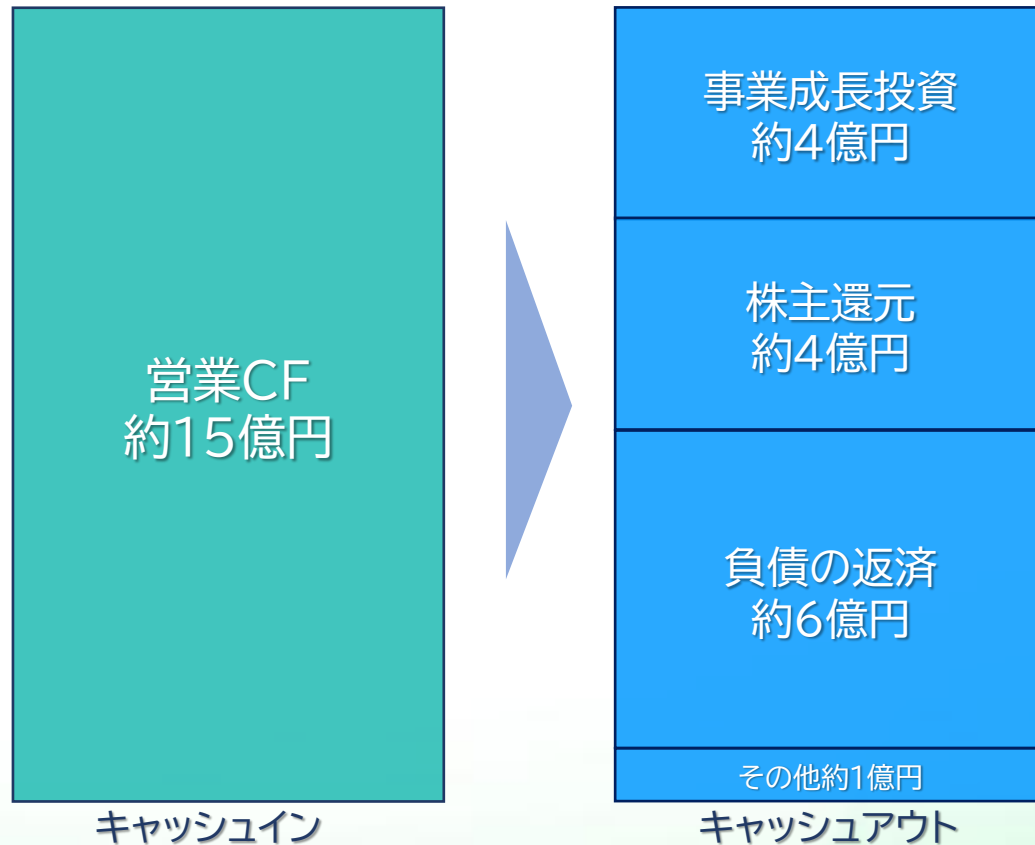
- ・事業体制、既存事業の強化や生産設備の更新、拡充、
また、DXの推進や人的資本への投資など成長戦略への投資・経営基盤の強化に努めます。

株主還元

- ・健全な財務内容の維持向上を図るとともに、
株主の皆様へ安定した利益の還元を行うことを基本とし、
業績や経営環境などを総合的に勘案し実施します。

5 財務戦略 — キャピタルアロケーション方針

中期経営計画2029期間中に創出するキャッシュを成長投資と株主還元適切に配分



■戦略的成長投資

- 事業体制、既存事業の強化、新事業の開発強化など
- 循環型社会に配慮したモノづくりへの投資など

■基盤投資

- DX推進:国内拠点最適化に伴うシステム更新など
- 更新投資:設備の維持投資や労働環境向上に伴う投資など

■株主還元

- DOE1%を下限として2%を目標とした安定配当を継続・実施

■負債の返済・その他

- 財務の健全性確保等

免責事項について

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略およびその他の歴史的
事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事、状況に関する説明における「確信」「期待」「計画」「戦略」「見込み」「想定」
「予測」「予想」「目的」「意図」「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。

口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に
関する情報は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。

実際の業績には、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しの
みに全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

また、新たな情報、将来の事象、そのほかの結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改定するとは限りません。

当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために
作成されたものでもありません。